

やきもの散歩道

やきもの散歩道を歩くのは、常滑の伝統を学ぶ最適な方法の1つだ。コースは2種類あり、いずれも常滑市陶磁器会館を起点とする。Aコースは全長1.6キロで、常滑の代表的な名所や景勝地がいくつか含まれている。一方Bコースは全長4キロで、常滑の陶磁器のより詳しい歴史の概要がわかる。散策時間の目安は、Aコースが1時間程度、Bコースが2時間半程度だが、多くの見どころを満喫するために、もっと長い時間をかけたくなるかもしれない。地図を手に、道中にある英語の看板を探してみよう。

やきもの散歩道は、保存状態の良い家屋や窯が多く残る栄町地区が中心となっている。細く曲がりくねった通りは伝統的な雰囲気を残し、史跡のそばを通る。住民たちは通りや庭を常滑焼で飾ることでこの地域の魅力を高め、新しい世代の職人や起業家たちはコース沿いの空き家を陶芸工房やアートギャラリー、カフェに生まれ変わらせた。

やきもの散歩道は1972年に始動し、歴史的町並みの保存と常滑の観光地化に貢献してきた。散歩道を歩く際は、住民のプライバシーを尊重し、坂道で雨天時は滑りやすいので注意して歩こう。